平成22年度　CDM植林人材育成研修　概要

1.　募集概要

【研修名】CDM植林人材育成研修　国内研修（一般コース）

【対象者】CDM植林に関心を持ち、今後CDM植林事業の企画立案実施を担う意欲のある方。（内容は基礎レベルとなりますので、すでに知識・経験をお持ちの方はPDD作成コースや海外研修の受講も併せてご検討下さい）

【日程】平成22年9月1日（水）～3日（金）の3日間（各日終日）

【場所】東京都文京区後楽1-7-12　林友ビル6階

【研修目標】
①CDM植林の特徴を理解する（土地適格性、追加性、期限付きクレジット、リーケージ等）
②CO2吸収量の計算方法を把握し、自ら計算できるようになる
③CDM植林の取組事例について知見を得る

【講義内容】2.時間割　3.講義概要　を参照下さい。

【定員】15-20名程度

【参加費】無料　（実習で使用しますので、ノートPCをご用意下さい）

【応募方法】JIFPROホームページから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記担当者までメール（タイトルを必ず「CDM植林人材育成研修申込み」として下さい）またはFAXにてお申し込み下さい。

【応募締切】8月20日（金）17時必着　（定員を越えた場合、申込書によって選考する場合がありますのでご了承下さい）

【連絡・お問い合わせ】
（財）国際緑化推進センター　（担当：仲摩、棚橋）
ホームページ：　http://www.jifpro.or.jp
メール：yuhei@jifpro.or.jp（棚橋）
電話：03-5689-3450　FAX：03-5689-3360

2.　時間割

第　１　日目　（９月１日　水曜日）　－CDM 植林の基礎－	
9:15～ 9:30	受付
9:30～10:00	開講式、オリエンテーション
10:00～11:00	０１　気候変動枠組条約、CDM の基本ルール
11:10～12:10	０２　CDM 植林の基本ルール
12:10～13:10	昼休み
13:10～14:10	０３　PDD の構成・承認方法論の解説
14:20～15:20	０４　小規模 CDM 植林モデル林事業の紹介
15:30～16:30	０５　カーボンクレジット市場の動向
16:40～17:30	０６　全体質疑
第　２　日目　（９月２日　木曜日）　－CO2 吸収量算定－	
9:30～10:30	０７　CDM 植林における炭素蓄積量モニタリング方法の解説
10:40～12:10	０８　グループ演習Ⅰ（炭素蓄積量モニタリング実習）
12:10～13:10	昼休み
13:10～14:40	０９　CDM 植林における CO2 吸収量の推定方法の解説
14:50～16:20	１０　グループ演習Ⅱ（CO2 吸収量計算実習）
16:30～17:00	１１　人工林成長量データベース、投資分析プログラム紹介、全体質疑
第　３　日目　（９月３日　金曜日）　－CDM 植林事例研究－	
9:30～11:00	１２　事例研究Ⅰ（登録済み事例：ベトナム）
11:10～12:10	１３　事例研究Ⅱ（登録準備事例：インドネシア）
12:10～13:10	昼休み
13:10～14:10	１４　事例研究Ⅲ（VER の取組事例：フィリピン）
14:20～15:20	１５　次期枠組みに向けた国際交渉の現状
15:30～16:30	１６　CDM 植林推進に向けた論点
16:40～17:10	１７　総合討論、意見交換
17:10～17:20	アンケート記入
17:20～17:30	閉講式、修了書授与

＊注：現時点での時間割案です。内容・日時の変更もあり得ます。その際は、応募締切後に受講が決定した方にご連絡致します。

3.　講義概要

＊注：現時点での講義内容案です。内容・日時の変更もあり得ます。その際は、応募締切後に受講が決定した方にご連絡致します。

０１	９月１日（水）　１０：００～１１：００　（６０分）
講義名	気候変動枠組条約、CDM の基本ルール
講義目標	気候変動対策分野における京都メカニズムについて理解する
キーワード	クリーン開発メカニズム（CDM）、ベースライン＆クレジット
主な内容 （予定）	・気候変動枠組条約、京都議定書の説明 ・京都メカニズムとは ・ベースライン＆クレジットとキャップ＆トレード ・CDM の概要、CDM 植林の位置づけ ・CDM の関係アクター

０２	９月１日（水）　１１：１０～１２：１０　（６０分）
講義名	CDM 植林の基本ルール
講義目標	吸収源活動である CDM 植林特有のルールについて理解する
キーワード	土地適格性、tCER/lCER
主な内容 （予定）	・CDM 植林事業の一般的なサイクル ・CDM 植林対象地の満たすべき条件 ・CDM 植林の「追加性」とは ・CDM 植林で考慮するカーボンプール ・期限付きクレジットの種類と特徴

０３	９月１日（水）　１３：１０～１４：１０　（６０分）
講義名	PDD の構成・承認方法論の解説
講義目標	PDD 及び方法論の意義と主な内容について理解する
キーワード	プロジェクト計画書（PDD）、適用条件
主な内容 （予定）	・プロジェクト規模（大規模・小規模） ・PDD の記載事項 ・承認方法論の利用方法 ・承認方法論の種類と主な内容 ・承認ツール、ガイダンス

０４	９月１日（水）　１４：２０～１５：２０　（６０分）
講義名	小規模 CDM 植林モデル林事業の紹介
講義目標	事例を基に、PDD 作成までの流れを理解する
キーワード	有効化審査、土地適格性
主な内容 （予定）	・小規模 CDM 植林モデル林事業の概要 ・土地適格性の証明方法 ・追加性の証明方法 ・CO2 吸収量の事前推定とは ・環境・社会経済影響分析とは

０５	９月１日（水）　１５：３０～１６：３０　（６０分）
講義名	カーボンクレジット市場の動向
講義目標	カーボンクレジット市場・クレジットの種類や特徴を理解する
キーワード	コンプライアンス、ボランタリー
主な内容 （予定）	・コンプライアンスとボランタリー ・主なカーボンクレジット市場の種類と特徴 ・主なカーボンクレジットの種類と特徴 ・カーボンクレジットの活用事例 ・吸収源由来のクレジットの種類と流通の現状

０６	９月１日（水）　１６：４０～１７：３０　（５０分）
講義名	全体質疑
講義目標	０１～０５の講義内容を復習し、理解を共有する
キーワード	―
主な内容 （予定）	―

０７	９月２日（木）　９：３０～１０：３０　（６０分）
講義名	CDM 植林における炭素蓄積量のモニタリング方法の解説
講義目標	モニタリングの意義と方法について理解する
キーワード	サンプルプロット、階層化
主な内容 （予定）	・事後推定とは ・階層化の意義と手順 ・サンプルプロットの設定方法 ・プロットで測定すべきパラメータの種類と測定方法 ・モニタリング実習の手順説明

０８	９月２日（木）　１０：４０～１２：１０　（９０分）
講義名	グループ演習Ｉ（炭素蓄積量モニタリング実習）
講義目標	モニタリングの方法を体験する
キーワード	胸高直径、樹高
主な内容 （予定）	・プロットの境界画定・面積測定 ・ナンバリング ・胸高直径の測定 ・樹高の測定 （グループに分かれて近隣の公園にて実施予定）

０９	９月２日（木）　１３：１０～１４：４０　（９０分）
講義名	CDM 植林における CO2 吸収量の推定方法の解説
講義目標	CO2 吸収量の推定方法について理解する
キーワード	純人為的 CO2 吸収量、ベースライン
主な内容 （予定）	・CO2 蓄積量と CO2 吸収量の違い ・ベースラインシナリオ、プロジェクト排出、リーケージ ・デフォルト法とストックチェンジ法 ・収穫表とアロメトリー式 ・吸収量計算実習の手順説明

１０	９月２日（木）　１４：５０～１６：２０　（９０分）
講義名	グループ演習Ⅱ（CO2 吸収量計算実習）
講義目標	CO2 吸収量の計算方法を理解する
キーワード	収穫予想表、デフォルト値
主な内容 （予定）	・グループ演習Ｉの結果をとりまとめ ・収穫予想表等各種資料により、パラメータを特定 ・Excel を用い、演習Ｉのプロットの吸収量を計算 ・グループ毎に結果発表・比較 （グループに分かれて実施予定、Excel の入った PC 持参を推奨）

１１	９月２日（木）　１６：３０～１７：００　（３０分）
講義名	人工林成長量データベース、投資分析プログラム紹介、全体質疑
講義目標	上記ツールの内容を把握する、０７～１０の講義内容を復習する
キーワード	－
主な内容 （予定）	・人工林成長量データベースの紹介 ・投資分析プログラムの紹介

１２	９月３日（金）　９：３０～１１：００　（９０分）
講義名	事例紹介Ⅰ（登録済み事例：ベトナム）
講義目標	登録済み CDM 植林プロジェクトの事例を学ぶ
キーワード	－
主な内容 （予定）	・プロジェクト概要 ・CDM 植林に取り組む経緯、現地との交渉経緯 ・CDM 植林のための準備や活動の内容 ・CDM 植林の登録までの課題と克服方法 ・今後の予定

１３	９月３日（金）　１１：１０～１２：１０　（６０分）
講義名	事例紹介Ⅱ（登録準備事例：インドネシア）
講義目標	登録準備中 CDM 植林プロジェクトの事例を学ぶ
キーワード	－
主な内容 （予定）	・プロジェクト概要 ・CDM 植林に取り組む経緯、現地との交渉経緯 ・CDM 植林のための準備や活動の内容 ・CDM 植林の登録までの課題と克服方法 ・今後の予定

１４	９月３日（金）　１３：１０～１４：１０　（６０分）
講義名	事例紹介Ⅲ（CCB 基準による社会･環境基準認証取得の事例：フィリピン）
講義目標	CCB 基準による社会･環境基準認証取得の事例を学ぶ
キーワード	CCB 基準
主な内容 （予定）	・CCB 基準とは ・CCB 基準による認証取得プロセス ・プロジェクト概要 ・CCB 基準による認証取得のための準備や活動の内容 ・CCB 基準による認証取得までの課題と克服方法

１５	９月３日（金）　１４：２０～１５：２０　（６０分）
講義名	次期枠組みに向けた国際交渉の現状
講義目標	CDM 植林の見直しや新たな吸収源活動に関する議論を学ぶ
キーワード	疲弊した森林、REDD
主な内容 （予定）	・第一約束期間における CDM 植林の見直し ・次期約束期間に向けた CDM 植林の議論 ・REDD、REDD＋とは ・REDD、REDD+に関する議論の経緯と現状 ・COP16/CMP6 に向けた論点

１６	９月３日（金）　１５：３０～１６：３０　（６０分）
講義名	CDM 植林推進に向けた論点
講義目標	CDM 植林の特徴とその見直しの議論について学ぶ
キーワード	バッファー、追加性
主な内容 （予定）	・排出源 CDM での見直しの流れ ・CDM 植林の特徴・CDM 植林に関する国際的議論のオプションの復習 ・期限付きクレジットへの対応 ・土地適格性への対応 ・追加性への対応